

志佐川の洪水対策について

8月27・28・29日までの間に松浦市では562mmの大雨が降り、市道浜の脇線の崩壊、不老山の地滑り、市内各地で災害が発生しました。昨今の大雨災害で、河川の氾濫が大きな問題になっています。安江ゆう子市議は、被災された方々にお見舞いを述べて、市民の安全をどのように守るのか、万が一のときの情報をきちんと市民に伝えることを求めて質問しました。

笛吹ダムの自然越流が予測される場合、住民への周知、手立ては

安江 笛吹ダムの非常用洪水吐きから自然越流が予測される場合、住民への周知、手立てはどうなっていますか。

上下水道課長 笛吹ダムは上流の流域面積が小さいことが出来ない、自然調節式のダム

た時は、関係機関に通知するとともに、ダム下流域への警報をしなければならないとなっています。ただ、非常用洪水吐きからの越流がはじまつた情報は、防災課に集約され適切な対応が取られる事についているので、ダムの放流に関する警報装置等は必要ない

と思っています。

安江 非常用洪水吐きから自然越流が大量に流れた時には、志佐川の水が溢れる危険性が高くなるのではないか。笛吹ダム下流域に居る

また、これまで大雨で浸水被害を受けられた方々は、また浸水するのではないかと不安で、何度も高野橋の水位を見に行かれ危険です。高野橋にライブカメラの設置を求めますが、いかがですか。

防災課長 県として、志佐川は水位周知河川の一つで、令和3年度までに河川カメラ1台を設置されるが、暖竹などの伐採、浚渫とともに含めて監視カメラ設置についてもなるべく早くと要望していきた

い。

人に対しても市民の安全を図るために、避難行動を早く取

るため、サイレンと看板を求めます。



笛吹ダム

ようになつ
非常用洪水
吐きから自
然越流する
ようになつ



原発問題で政府に直接交渉

10月9日、10日県下の共産党議員と一緒に政府に直

接交渉をしてきました。安江ゆう子市議は、内閣府や

経済産業省などに原発問題で以下の申し入れを行いました。

・玄海原発3号機は稼働を停止し、4号機の再稼働は中止すること。
・30キロメートル圏内自治体における同意権の法的整備をおこなうこと。
・防災対策の充実を国の責任で図ること。

・原子力災害対策指針を見直すこと。

見直すこと。

いっしょけんめい 安江ゆう子市議

9月15日：青島小中学校運動会



9月15日：御厨中学校体育大会



10月2日：松浦市小学校陸上競技大会



10月31日：星鹿小学校スター・バンビ集会



10月6日：今福和一祭り

